

第9回政策推進会議報告

日時 8月5日(月) 9時30分～10時15分

場所 4-1会議室

出席者 18人

1 平成25年度普通交付税及び臨時財政対策債の概要について

企画財政局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・ 予算と比較して、保健衛生費や高齢者保健福祉費が増になったということだが、具体的な要因は何か。

保健衛生費の主な増要因は、予防接種に係る経費の基準財政需要額算入率が引上げられたことである。高齢者保健福祉費の増要因は、社会保障関係経費の自然増が反映されているものである。

- ・ 算定額の上ぶれに対する今後の調整として、基金取崩しの圧縮と市債発行の圧縮がなされるのか。

その予定である。

- ・ 本市では、すでに長期間にわたって給与削減に取り組んできたため、国家公務員の給与削減にあわせた職員の給与削減を行っていないが、普通交付税にその影響はあるのか。

当初予算では、給与削減の影響として10億円の減が見込まれたため、10億円を減額して予算編成している。一方で、定数減など一定努力をしている点については増要素として反映するという方針が出ていたが、こちらは当初予算に間に合わず、計上できていなかった。結果、算定では行革などが増算定となったことから、全体としては当初予算に比べ増になっている。

(村山副市長) 当初算定額が当初予算額に比べて増になったが、この傾向が来年度も続くかは不透明であり、また、消費税増税による地方財政への影響も見えないことから、現在取り組んでいる行革については、手をゆるめることなくしっかり取り組んでほしい。

2 その他

- ・ 顧問から、「あまらぶウェルカムムービー」について説明。
- ・ 企画財政局長から、市長及び尼崎市代表団の姉妹都市・友好都市訪問について報告。

以上